

兵庫県のり漁場環境情報 (淡路周辺海域 10号)

2021年 1月 7日発行
兵庫のり研究所

珪藻は一部漁場を除き淡路周辺海域全般に少ない状況です。窒素は、西浦及び南浦海域で全般に $2 \mu\text{g-at/L}$ 前後、東浦海域で $2 \mu\text{g-at/L}$ 台でした。

(珪藻ほか)

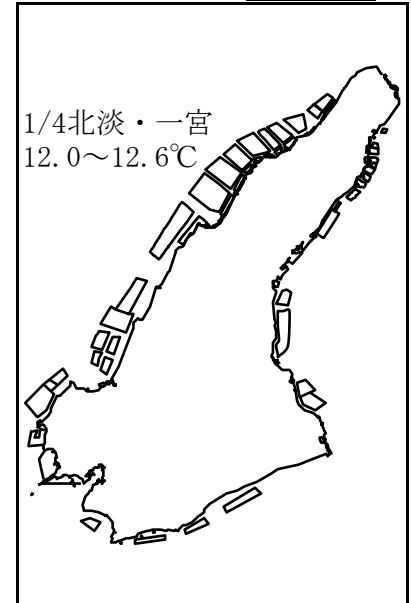
コシノディスカスが灘漁場で海水1Lあたり250細胞と多く、由良漁場で90細胞それ以外の漁場では20~50細胞と散見される。それ以外、連鎖して肉眼視される筒状の珪藻(デトヌラ・ギナルディア等)が全域で確認される程度で、全般には珪藻の発生量は少ない状況。年末年始の風波以降、播磨灘全体的な栄養塩のベースダウンにより、西浦海域において窒素はやや減少傾向を示している。

| | | 前回値 | 今回値 | 平年値 | 昨年値 |
|------|----|------|------|------|------|
| 東浦地先 | 窒素 | 3.4 | 2.7 | 5.9 | 3.5 |
| | リン | 0.49 | 0.44 | 0.54 | 0.47 |
| 西浦地先 | 窒素 | 3.1 | 2.1 | 5.2 | 3.9 |
| | リン | 0.54 | 0.49 | 0.59 | 0.61 |
| 南浦地先 | 窒素 | 3.2 | 3.1 | 5.4 | 3.2 |
| | リン | 0.53 | 0.52 | 0.56 | 0.51 |

(12/25)

(1/7)

水温図



栄養塩 (窒素) 図

2021年 1月 7日調査

